

柱状片刃石斧

弥生時代(約2200年前)



南さつま市・高橋貝塚(河口コレクション)
(随時掲載)

「手斧(ちょうな)」のように、柄に装着して使います。丁寧に研ぎ出された刃が美しく、腕のいい職人の道具だったのでしょう。上野原縄文の森の企画展で展示中。(県立埋蔵文化財センター)